

Weフォーラム 2015 in 水俣

水俣から福島へ“希望”をつなぐ

2015年8月8日(土)～10日(月)

8月9日会場: 水俣市総合もやい直しセンター「もやい館」

東日本大震災と福島第一原発の事故から4年の月日が流れました。
震災後、福島の人たちの置かれた状況に思いをさせ、微力でも何かできることはないかと、
2012年と2014年に福島県でWeフォーラムを開催しました。

今年、水俣での開催を決めたのは、
福島と水俣の若い世代の出会いがきっかけになっています。
分断されたつながりを回復しようとくもやい直し>を試みる水俣の人たちとともに、
水俣と福島の〈いま〉と〈これから〉の暮らしを知り、語り合う機会にしたいと考えています。

不知火海沿岸に位置する水俣は、海の幸・山の幸に恵まれたところです。
今回は、山から海まで、水俣をフィールドワークでゆっくりじっくり学びます。
ご都合のつく方はぜひ3日間を通してご参加下さい(もちろん部分参加も可能です)。

● 参加費:

- 8月8日(土) 海のフィールドワーク 4,000円(新水俣駅 12:30 集合)
8月9日(日) 全体会・分科会 各 1,000円(高校生まで無料、水俣と福島の方、学生、経済的事情のある方は500円)
交流会(夕食) 3,000円 *分科会終了後、2Fの喫茶「花」で交流会をします(飲み物は別)。
8月10日(月) 山のフィールドワーク 4,000円(新水俣駅 14:00 解散)

● 会場: 8月9日(日)

水俣市総合もやい直しセンター「もやい館」
〒867-0005 熊本県水俣市牧ノ内3-1 電話: 0966-62-3120

「Weフォーラム 2015 in 水俣」参加申込・お問合せ

6月1日(月)～7月15日(水)までに別紙申込書にご記入の上、FAX・郵送にてお申込みください。
電話・メールでも受け付けます。申込み後、参加費・宿泊費等を7月15日(水)までに郵便振替口座(00100-2-163480 Weの会)にお振込み下さい。

- ※ 海のフィールドワークと8/8宿泊は(40名)、8/9の宿泊と山のフィールドワークは(30名)、いずれも先着順となります。
※ 提供された個人情報は、今回の事業実施のみに利用し、その他の目的で利用することはありません。

Weフォーラム実行委員会事務局 電話: 045-482-6711 FAX: 045-482-6712
メール: we2015@femix.co.jp

8月9日(日)10:00~13:30

(開場・受付 9:30~)

◎会場:もやい館 3F もやいホール

◎参加費: 1,000円

高校生まで無料。水俣と福島の方、学生、
経済的事情のある方は500円

◎定員:150人

全体会:

もやい直し ~水俣と福島のこれからを語ろう

第1部 10:00~ 杉本肇さんのお話

第2部 11:00~ パネルディスカッション

ゲスト: 杉本肇さん (漁師・やうちブラザーズ、水俣病資料館語り部)

日塔マキさん (女子の暮らしの研究所代表)

水俣で活動する若者 (交渉中)

12:30~ 休憩・昼食

13:00~13:30 やうちブラザーズ パフォーマンス

杉本肇さんは、その症状のみならず地域社会からの過酷な差別と迫害に苦しむなかで水俣病を「のさり」(授かりもの)と受け止めた水俣病患者・故杉本栄子さんの長男。一度は離れた水俣に戻り家族でイリコ漁を営み、コミックバンド「やうちブラザーズ」の活動を通して人々に笑いと元気を届け、福島第一原発事故後は「もっと早く水俣で起きたことを発信し注目してもらえていれば、原発事故は起きなかったかもしれない」との思いで、水俣と福島をつなぐ活動に取り組まれています。

福島の「女子の暮らしの研究所」の日塔マキさんは、水俣を訪ね、福島がいま直面していることが、昔水俣が背負わされた状況と同様であることにはじめて気づきショックを受けます。しかしその一方で、水俣では「がんばってね」と言われるのではなく、「一緒にがんばろうね」と言ってもらえるのが嬉しく、また、苦しく悲しい思いをしたからこそ、それをプラスに転化しようとする試みが生まれていることに勇気づけられ、水俣に学びたい、と願っています。

水俣と福島、それぞれ理不尽な災禍に遭うなかで地域の再生を願い試行錯誤する人たちの思いと経験を語り合う中から、ゆるやかにつながり支えあっていくヒントを探していきたいと思います。



◎ ゲスト:杉本肇さん (漁師・やうちブラザーズ、水俣病資料館語り部)

1961年、水俣生まれ。水俣病患者・杉本雄さんと栄子さん(故)の長男。家族でイリコ漁を営む。2008年より水俣病資料館語り部として活動。14年前にコミックバンド「やうちブラザーズ」を結成。メンバーの3人は兄弟と親戚の関係(水俣では親戚のことを「やうち」と呼ぶ)。



◎ゲスト:日塔マキさん (女子の暮らしの研究所代表)

震災と原発事故を受け、「これからの暮らしの見直し」をテーマに2012年12月に女子の暮らしの研究所を結成。福島の子供たちの声を様々なカタチで発信している。「Re:trip」(リトリップ)の企画の他、「ふくしまピースプロジェクト」「LABOLABO ラジオ」の制作なども行う。

※女子の暮らしの研究所 <http://www.girls-life-labo.com/>

◎ ゲスト:水俣で活動する若者 (交渉中)

8月9日(日)14:30～16:45 分科会 (開場・受付 14:00～)

◎会場:「もやい館」
◎参加費: 1,000円
高校生まで無料。水俣と福島の方、
学生、経済的事情のある方は500円

① 谷由布ちゃんの水俣病講義～支援者二世世代が語る水俣病と水俣の今



話題提供: **谷由布さん** (「ほたるの家」スタッフ、介護ヘルパー)

◎会場:「もやい館」会議室 ◎定員:40人

水俣に移り住んだ支援者の子どもとして幼少の頃から患者に囲まれて育ち、大学時代にインドネシアにひかれて旅をし、民主化支援のNGOのメンバーとして活動後、2009年に帰郷。現在水俣病患者の集まる「ほたるの家」のスタッフ、在宅介護ヘルパーとして、水俣病患者の生活支援に携わり、水俣病被害者互助会の事務局もつとめる谷さんに、二世世代から見る水俣病患者の現状やこれからの課題について語っていただきます。

②「地元学」から考える～水俣と福島をつなぐもの



話題提供: **天野浩さん** (天の製茶園、水俣市環境マイスター)

◎会場:「もやい館」(未定) ◎定員:40人

水俣の過酷な現実の中から、差別する世間を変えるのは難しいのでまず水俣から変わっていかうと、水のゆえを調べ、地域にあるものを探し出して磨く作業を、風の人(地域の外の人)の力も借りて進めてきた「地元学」。その「地元学」を切り口に、水俣と福島のこれからの考え、話し合います。

③認知症予防ゲーム「スリーA 増田方式」ワークショップ



◎会場:「もやい館」音楽室 ◎定員:40人

「あかるく、あたまをつかて、あきらめない」3つの「あ」で「スリーA増田方式」。高齢者が認知症にならないように、地域・家庭で穏やかに笑顔で生活できるようにとの願いで、津々浦々に広めたい認知症予防ゲームです。ワークショップの参加者からは、涙が出るほど大笑いをして、元気がわいたと言われます。ぜひ、このゲームに参加して、大笑いして、脳の活性化を実感してください。

*認知症予防ネット <http://www.n-yobo.net/>

8月9日(日)17:30～19:30 交流会 (開場・受付 17:30～)

◎会場:もやい館 2F 喫茶「花」
◎参加費: 3,000円 (飲み物別)

■8/9(日)11:00～18:30 マルシェがオープン!

会場:もやいホール前ひろば

水俣や福島でさまざまな活動をしている団体が一堂に集う、またとない機会です!

【農業×食】

・水俣の美味しい食材、お菓子、お土産などを販売予定

【美×ファッション】

・「女子の暮らしの研究所」ブース、女子のフリーマーケット、手作り・フェアトレード系の商品など

【ココロ×カラダ】

・マッサージなど



その他、We や関連書籍・ブックレット等も展示・販売します。ぜひお立ち寄り下さい。

『くらしと教育をつなぐ We』は、誰もが安心して生きられる社会の実現をめざして、さまざまなテーマをとりあげ、最先端の情報とささやかであっても<希望>と<可能性>を感じさせる試みを紹介しつつ、ネットワークをひろげる雑誌です。「女子の暮らしの研究所 くるくる交換日記」も好評連載中です。

◎定価: 800円+税 ◎年間購読料: 5,400円(税・送料込み)

◎購読希望の方は編集部にご直接お申込みください。

フェミックス <http://femix.co.jp> 電話 045-482-6711 FAX045-482-6712 メール jimu@femix.co.jp



海と山から 水俣をたどるフィールドワーク

不知火海沿岸に位置する水俣は、海の幸・山の幸に恵まれたところです。今回は、山から海まで、水俣をフィールドワークでゆっくりじっくり学びます。海のフィールドワークは相思社の永野三智さんが、山のフィールドワークは天の製茶園の天野浩さんが案内していただきます。

8/8(土) 海のフィールドワーク 参加費:4,000円 (バス代、案内費含む) 定員:40人 (先着順)



- 【行程】**
- 12:30 新水俣駅集合
 - 13:00 出発 (車中での案内)
 - 13:30 チッソ周辺見学、汚染された魚や水銀が眠る水俣湾埋立地とそこに広がる野仏の数々を見学し、お話を聞きます。
 - 15:00 水俣の最南端の漁村である美しい茂道、海中から湧き出る真水の姿を見学しお話を聞きます。
 - 16:00 水俣病歴史考証館の見学とお話。
 - 17:30 湯の児温泉/「昇陽館」(宿泊)



●海のフィールドワーク・コーディネーター: **永野三智さん**(一般財団法人水俣病センター相思社 患者担当)
 水俣市生まれ。20歳のときに恩師・溝口秋生さんの訴訟を知る。その後、子どもを連れての放浪の旅の後、2007年に地元に戻る。2008年から水俣病センター相思社に入るとともに、溝口さんの生活支援をはじめ。現在、相思社で患者の相談業務や水俣の産物販売、水俣を訪れた人たちへのまち案内役を担当。
 ※相思社 <http://www.soshisha.org/jp/> (『We192』号にインタビューを掲載)

8/10(月) 山のフィールドワーク 参加費:4,000円 (交通費、案内費、お弁当・お茶代含む) 定員:30人 (先着順)



- 【行程】**
- 9:00 スーパーホテル水俣 玄関集合
 - 9:30 出発 (大型タクシーに分乗予定)
 - 10:00 水俣市山間地域を水の巡りを見ながらご案内します。
 - 訪問先 天の製茶園
村丸ごと生活博物館 (越小場地域)
久木野地域 (棚田が広がる地域です)
 - 12:00 昼食と交流
 - 13:30 天の製茶園出発
 - 14:00 新水俣駅解散



●山のフィールドワーク・コーディネーター: **天野浩さん**(天の製茶園)
 1975年、水俣市生まれ。天の製茶園・代表取締役。熊本県立農業大学校卒業後、実家の農業を継ぎ、無農薬茶(紅茶が6割、残りが緑茶、ウーロン茶・ほうじ茶も少量)の製造・加工・販売までを家族で行っている。「地元学」との出会いをきっかけに水俣を再発見し、次世代の仲間と連携しながら、水俣から新たな文化の発信を続けている。(『We192』号にインタビューを掲載)

「We フォーラム 2015 in 水俣」 実行委員会事務局

〒225-0011 横浜市青葉区あざみ野 1-21-11 フェミックス内

電話:045-482-6711 FAX:045-482-6712 メール:we2015@femix.co.jp